

| | | | | | | |
|-------------------|--|-----------|--------|------------|-----|-------------|
| 科目ナンバー | SEM-1-001-ky | | 科目名 | 基礎演習I (岡井) | | |
| 教員名 | 岡井 宏文 | | 開講年度学期 | 2020年度 前期 | 単位数 | 2 |
| 概要 | 前期の基礎ゼミでは、高校までの学び・学校生活と大学のそれとはどのように異なるのかを考えつつ、大学での学習・生活に必要な基本技法を身につけていきます。まずはゼミとコースの範囲のなかで人間関係を築いていくことを大事にしつつ、受動的な勉強ではなく、自分の力で調べ、考え、発想してまとめていくための基本を身につけていきます。 | | | | | |
| 到達目標 | 高校からの環境移行に伴う変化にうまく対応し、新たな関係づくりができることや、資料調査をする方法、レポートの書き方、引用の仕方、討論の仕方などについて、実践を通して学び、今後すべての科目のレポートや3年生の課題演習、4年生卒業研究を行う際に必要な基本技術を身につけることを目標とします。 | | | | | |
| 「共愛12の力」との対応 | | | | | | |
| 識見 | | 自律する力 | | コミュニケーション力 | | 問題に対応する力 |
| 共生のための知識 | ○ | 自己を理解する力 | | 伝え合う力 | ○ | 分析し、思考する力 ○ |
| 共生のための態度 | | 自己を抑制する力 | | 協働する力 | ○ | 構想し、実行する力 ○ |
| グローバル・マインド | ○ | 主体性 | | 関係を構築する力 | | 実践的スキル |
| 教授法及び課題のフィードバック方法 | ゼミ別に分かれた授業と、7つの合同ゼミ形式の授業を組み合わせながら実施します。授業の進行は演習形式が基本で、お互いに顔を合わせた討論形式で行いますが、必要に応じてミニ講義、グループ討論、プレゼン大会なども行います。合同ゼミの時間は他ゼミとの交流を行ったり、上級生の海外体験を聴いたり、スポーツ大会を行ったり、外部から講師を招いてのゲスト講演会なども実施します。 | | | | | |
| アクティブラーニング | ○ | サービ斯拉ーニング | | 課題解決型学修 | | ○ |
| 受講条件 前提科目 | 国際コース一年生の必修科目です。他コースからの履修はできません。 | | | | | |
| アセスメントポリシー及び評価方法 | 評価は、授業参画への貢献度(15%)、ディベート大会(25%)、ミニレポート・ミニ課題(25%)、期末レポート(25%)、KCGへの書き込み(10%)により、総合的に評価します。5回欠席からは受験資格なしになり、単位取得できません。 | | | | | |
| 教材 | なし。 | | | | | |
| 参考図書 | 田中共子(編)(2003)『よくわかる学びの技法[第2版]』ミネルヴァ書房(ISBN10: 462305649X ISBN13: 9784623056491)、藤田哲也(編著)(2002)『大学基礎講座』北大路書房、森 靖雄(1995)『大学生の学習テクニック』大月書店、河野哲也(2018)『レポート・論文の書き方 第4版』慶応大学出版会。 | | | | | |
| 内容・スケジュール | | | | | | |
| 1週目 | | | | | | |
| 授業学修内容 | オリエンテーション／ゼミの顔合わせ(大学の生活のために) | | | | | |
| 授業外学修内容 | 自己紹介シートの作成などの課題があります。 | | | | 時間数 | 2 |
| 2週目 | | | | | | |
| 授業学修内容 | 大学での学びが、高校までの勉強とどのように違うか、テキストの具体例や先輩の体験談などから理解します。 | | | | | |
| 授業外学修内容 | 配布プリント等を事前に読んでおいてください。また、4号館のルールに関するシートの記入・提出などの課題があります。国際力のチェックシートの記入と、添付ファイルを使った提出の課題もあります。教員の指示にしたがって提出してください。 | | | | 時間数 | 2 |
| 3週目 | | | | | | |
| 授業学修内容 | 大学の講義を理解のための聞く技術・読む技術について学習します。先生の板書内容・何をノートにとるか、といった基本的な点も、高校まで慣れ親しんできた方法が通用しないことがあります。ここでは、どのように講義を聴いたら良いのか、ノートの取り方などを学習します。そして本を論理的に読むための要点を、実際の練習問題や授業外課題を用いて学びます。 | | | | | |
| 授業外学修内容 | 配布プリント等を事前に読んでおいてください。 | | | | 時間数 | 2 |
| 4週目 | | | | | | |
| | 授業理解のための聞く技術・読む技術について学びます。大学では、レポート作成のための読書課題など | | | | | |

| | | | |
|---------|--|-----|---|
| 授業学修内容 | が頻繁にだされます。本の内容も、大部分が学術的な評論文などです。この回では、学術的な評論文を読む上で役に立つ基本的な事柄について、勉強します。また図書館を見学し、授業で必要な文献の検索方法や図書館の活用方法を学びます。 | | |
| 授業外学修内容 | 実際に評論書を使った宿題が出ます。それを仕上げて、提出してください。 | 時間数 | 2 |
| 5週目 | | | |
| 授業学修内容 | パワーポイントの作成の仕方を学びます。基礎演習の後半に実施されるディベート大会では、パワーポイントを用いて発表を行います。自己紹介の内容をパワーポイントで作成しながら、スライドの作成方法や注意点を学びます。またディベートとは何か、どのように討論を進めていくのかを学びます。 | | |
| 授業外学修内容 | 配布プリント等を事前に読んでおくことが課題です。 | 時間数 | 2 |
| 6週目 | | | |
| 授業学修内容 | 国際コース基礎ゼミ合同で「友だちづくりワークショップ」を行います。ワークショップでは、握手ゲーム、自己紹介、先輩とのグループディスカッション、国際コースクイズなどを行います。ゼミの枠を超えて、コースの1年生全体で交流を深め、今後のグループ学習(学園祭のパネル発表など)に備えるのが目的です。 | | |
| 授業外学修内容 | | 時間数 | |
| 7週目 | | | |
| 授業学修内容 | 共愛・共生について学び、考えます。共愛学園前橋国際大学は、共生の理念を掲げています。これは、明治時代に共愛学園が作られた建学の理念や、その後の歴史の中から受け継いできた理想を引き継いだものです。それは、様々な個別の教科を超えた、大学での学び全体の統一目標として重要です。この回では、学園の歴史や建学理念などについて、視聴覚教材や学園内のツアーなどを通じて学びます。 | | |
| 授業外学修内容 | 共愛学園の歴史について、図書館などでより詳しく調べることを課題です。 | 時間数 | 3 |
| 8週目 | | | |
| 授業学修内容 | 国際コース先輩たちから海外体験を聞き、海外で学ぶことや大学での学びについて考えます(コース全体)。国際コースでは、教室での学習に加え、実際に海外へ行き、人との交流や見聞を通じて能力を身につける「旅する力」を重視しています。この回では、海外語学研修、海外フィールドワーク、海外ボランティアなどで実際に海外学習を体験した先輩から、実体験を通じて海外学習の意味について語ってもらいます。また質疑応答などを通じて、先輩達と交流をはかります。 | | |
| 授業外学修内容 | 大学での学び方や、海外での学び方について考えてきてください。また事前に先輩に質問したい内容を考えてきてください。 | 時間数 | 2 |
| 9週目 | | | |
| 授業学修内容 | 国際コース先輩たちから海外体験を聞き、海外で学ぶことや大学での学びについて考えます(コース全体)。国際コースでは、教室での学習に加え、実際に海外へ行き、人との交流や見聞を通じて能力を身につける「旅する力」を重視しています。この回では、海外語学研修、海外フィールドワーク、海外ボランティアなどで実際に海外学習を体験した先輩から、実体験を通じて海外学習の意味について語ってもらいます。また質疑応答などを通じて、先輩達と交流をはかります。 | | |
| 授業外学修内容 | 大学での学び方や、海外での学び方について考えてきてください。また事前に先輩に質問したい内容を考えてきてください。 | 時間数 | 2 |
| 10週目 | | | |
| 授業学修内容 | ディベート準備を行います。国際コースでは毎年ディベート型プレゼンテーション大会を行っています。各ゼミで与えられたテーマをもとに、肯定派と否定派に分かれてグループ討論を行ったり、プレゼンテーションの準備を行います。 | | |
| 授業外学修内容 | ディベートテーマにかかわる資料集めや資料の読み込みを行ってください。 | 時間数 | 2 |
| 11週目 | | | |
| 授業学修内容 | ディベート型プレゼンテーション大会(1)を行います。2ゼミが決められたテーマに基づいたディベート型プレゼンテーションを行います。 | | |
| 授業外学修内容 | チーム内でプレゼンテーションのアイデアを決めたら、自分の担当する部分を調べてくることが課題です。 | 時間数 | 2 |
| 12週目 | | | |
| 授業学修内容 | ディベート型プレゼンテーション大会(2)を行います。2ゼミが決められたテーマに基づいたディベート型プレゼンテーションを行います。 | | |
| | | | |

| | | | |
|---------------|--|-----|---|
| 授業外学修内容 | 他ゼミのプレゼンテーションを聞きながら、自分たちのチームのプレゼン内容を検討したり、新たに調べたり、発表内容を精査したりすることが課題です。 | 時間数 | 2 |
| 13週目 | | | |
| 授業学修内容 | ディベート型プレゼンテーション大会(3)を行います。2ゼミが決められたテーマに基づいたディベート型プレゼンテーションを行います。 | | |
| 授業外学修内容 | 他ゼミのプレゼンテーションを聞きながら、自分たちのチームのプレゼン内容を検討したり、新たに調べたり、発表内容を精査したりすることが課題です。 | 時間数 | 3 |
| 14週目 | | | |
| 授業学修内容 | 前半では、1ゼミによるディベート型プレゼンテーション大会(4)を行います。後半部では、上級生によるディベートに対するコメント、評論会を行います。 | | |
| 授業外学修内容 | 他ゼミのプレゼンテーションを聞きながら、自分たちのチームのプレゼン内容を検討したり、新たに調べたり、発表内容を精査したりすることが課題です。 | 時間数 | 2 |
| 15週目 | | | |
| 授業学修内容 | 前期のまとめ、夏期休暇中の課題の確認、課題提出など。前期の課題を提出すると共に、ゼミ担任との個別面談を行います。 | | |
| 授業外学修内容 | レポート課題について事前に通知がありますので、指定された様式や枚数のルールに従ってレポートを作り、提出してください。 | 時間数 | 5 |
| 上記の授業外学修時間の合計 | | 27 | |
| その他に必要な自習時間 | | 63 | |

| | | | | | |
|----------------|--|-------------------|--------------------------|---------|---|
| Number | SEM-1-001-ky | Subject | Freshman Basic Seminar I | | |
| Name | 岡井 宏文(Okai Hirofumi) | Year and Semester | First semester for 2020 | Credits | 2 |
| Course Outline | Thinking about how learning and school life up to high school is different from that in college, students will gain the basic skills necessary for life and study at college. Placing importance on building human relationships within and among seminars in the course, students will gain the basics needed to research, think, imagine, and summarize on our own, rather than study passively. | | | | |